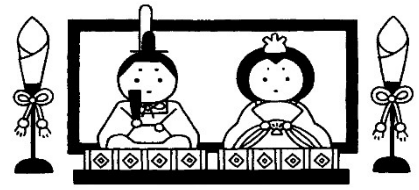
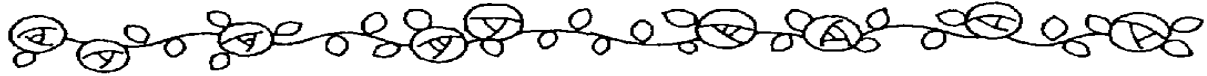


2024年度3月号

りすぐみだより



社会福祉法人 尚徳福祉会 生麦保育園 小西



寒さの中にも少しずつ春の暖かい日差しが感じられ、園庭にも水仙の花が咲き始めました。今年度も残りわずかとなり、寒さにも負けずこの一年で大きく成長した子どもたちの姿をうれしく頼もしく感じているこの頃です。来年度からはいよいよ幼児組です。少しずつ来年度への準備をしながら残りの日々もおもいっきり楽しみたいと思います。1年間、ご協力ありがとうございました。

おひなさま

折り紙を初めて折ってみました。三角に折るのがとても上手だったので、両端を織りあげてお雛様の着物を作りました。次の日は、それを台紙に貼って、顔も貼り、目、口をクレヨンで描きました。顔を描くのは皆上手になってきて、くりくりとした可愛い顔が描けていました。それから、冠、烏帽子、扇、笏を糊で貼りました。二人ずつ制作をしていると、「次は誰がやるの？」と早くやたくてうずうずしながらちゃんと待てるようになってきている姿も成長を感じます。制作を行うたびに指先も上手に使えるようになりました。

友だちとルールのある遊び

「だるまさんがころんだ！」の言葉で止まるのが楽しいりす組の子どもたちです。止まらないう鬼につかまってしまうところまでは分っていて、じっと止まっています。その後は、簡単に鬼ごっこのように捕まえにいきます。「かくれんぼしよう」と「もういいかい」「まだだよ」と木の陰に隠れて楽しんでいます。お友だちの後ろに数珠つなぎのように並んでいる時もあってとても可愛い姿もみられます。しっぽ取りをすると、取られない様に逃げながらも、友だちのしっぽを狙いに行く器用な子どももいます。友だちと一緒にいるのがますます楽しくなっていて、もうすぐ幼児組なのがうなずけるようになってきました。



自分でできるよ！

自分の着替えのカゴをロッカーに入れるのは春からとても上手だったこどもたちですが、自分で着替えを出して、服を脱ぎ介助されながらも畳んでしまい、着替えるのがスムーズになってきました。外に行くときは、靴下、靴を履き上着のチャックは手伝いますが、帽子は自分でかぶっています。食事では、フォークを使って三点持ちに気をつける子もでてきました。春にはエプロンをつけて、こぼしながら食べていたのが懐かしくなるくらい成長しました。できることが増えても、まだ甘えたい気持ちもあります。甘えたり、やってみたりを繰り返して大きくなっていく子どもたちですが、もうすぐ幼児組ということもあり、少しずつ介助から見守りにかえています。お子さんのやってみようを大事にちょっとだけ、待つ子育てもいいですね。